

Ⅳ 学 校 教 育

1 学校教育の指標

子どものよさを伸ばし、ふるさとを愛する心と自ら学ぶ力を育てる教育の実践

2 学校教育行政の基本方針

- (1) 心身ともに健全で、自ら学ぶ意欲と社会の変化に対応できる実践力のある児童生徒を育成します。
- (2) 国際社会に目を向け、郷土矢板を愛する心をもつ児童生徒を育成します。
- (3) 創意ある教育課程の編成と実施により、特色ある学校経営の充実を図るとともに開かれた学校づくりを推進します。
- (4) 学校環境の整備、改善を図り、創造的な教育実践の場の設定を図ります。

3 学校教育の努力点

- (1) 創意ある学校経営
- (2) 学力の向上
- (3) 豊かな心の醸成
- (4) 体力の向上と健康の増進
- (5) 特別支援教育の推進
- (6) 国際化、情報化に対応する教育
- (7) 開かれた学校づくりと特色ある教育活動の推進
- (8) 教職員の資質の向上
- (9) 学校環境の整備と安全教育の充実

4 学校教育における重点施策

(1) 創意ある学校経営

ア 学校経営の活性化

- 学校における教育目標は、学校が全教育活動を通して達成すべき目標です。特に、本年度の努力点の重点項目を明確にし、その具体策を明らかにします。
- 矢板市の重点施策として、各小・中学校長の教育理念を生かした特色ある学校づくり推進事業に取り組みます。

学校の伝統や校風、児童生徒の実態、地域の実情に応じた創意ある教育活動を通じ、目指す児童・生徒の育成・魅力ある学校づくりを推進し、学校便りやホームページ等を通じて地域へ情報を発信していきます。
- 学校と地域のつながりを強め、体験活動を通し、児童生徒のふるさとに対する誇りや愛着、周囲の人や自然環境に対する思いやりの心を育てます。
- 学校が組織体として効率的な成果を高めるために、教職員の学校経営への参画意識をもたせ、学校教育目標達成への意欲を高めます。

- 学校評価・教職員評価を実施し、教育実践の改善を図りながら、次年度の学校経営に生かします。
- イ 学習指導要領実施における教育課程の工夫と改善
 - 児童生徒に充実した学校生活を可能にする教育課程の実現を図るために、学校教育活動を見直し、週時程表、日課表を工夫し、創意に満ちた教育課程の編成に努めます。
 - 新学習指導要領に基づき、年間指導計画、展開計画を見直し、効率的な指導をしていきます。基礎・基本を確実に身に付けさせるとともに言語活動の充実、思考力・判断力の向上に努めます。
 - 教育課程の管理にあたっては、量的、質的な確保の面からの検討改善の工夫を図るようにし、一人ひとりの学習意欲を高めるようにします。

(2) 学力の向上

ア 指導計画の改善

- 全国学力・学習状況調査ととちぎっ子学習状況調査を全校で実施し、分析結果を活かして学力向上の取り組みを計画・実践します。
- 児童生徒が主体的に取り組み、各教科等における言語活動が充実するよう指導計画を工夫します。

イ 授業力の向上

- 「生きる力」をはぐくむための学習指導の充実を図ります。
- 授業のねらいを明確にし、そのねらいを達成するための学習活動を工夫します。
- 自ら学び、自ら考える力を育成するための「主体的・対話的な深い学び」の授業を展開します。
- 一人ひとりが主体的に思考・判断し、表現力を高めるための学習活動を工夫します。
- 授業の改善を図り、ティーム・ティーチングや少人数指導、習熟度別指導など個に応じた指導の充実を図ります。
- 一人ひとりのよさや可能性を生かす学習指導を工夫し、適切な評価計画の作成と評価方法の工夫を実践します。
- 教育機器の効果的な活用や学習環境（図書資料や教材・教具など）の工夫を行います。

ウ 家庭学習の習慣化

- 本市独自で作成した「学習の手引き（家庭学習のすすめ方）」を活用して家庭学習の習慣化を図ります。
- 「家庭学習ノートコンテスト」を実施し、家庭において自主的に学習することにより、学力・質量ともに向上を図ります。

エ 週末学習支援

- 小学生を対象に漢字と算数の講座を開講し、学習への興味・関心を高めるとともに学力の向上を図ります。

(3) 豊かな心の醸成

ア 学業指導の充実

- Q-Uテストを実施（小学校3年から中学校3年）することにより、児童生徒一人ひとりについての理解と対応方法、学級集団の状態等を把握し、学級経営の充実を図ります。

- それぞれの学級を「学びに向かう集団」に高めながら、児童生徒一人ひとりが自らの力で様々な不適応を解消して学習活動に取り組めるように、指導・援助します。

イ 道徳教育の充実

- 道徳教育推進教師等を位置付け、推進体制と全体計画をつくり、学校が一体となって道徳教育を実践します。
- 道徳の時間を「要」として学校のあらゆる活動を通して行い、道徳的実践の指導を行います。
- 道徳の時間の一層の充実を図るために「体験活動を生かすなどの指導の充実」、「魅力的な教材の開発や活用」、「言葉を生かし考えを深める工夫」、「情報モラルの問題に留意した指導」、「私たちの道徳」の活用を行います。

ウ 児童・生徒指導の充実

- 「自己存在感を与えること」、「共感的人間関係を育成すること」、「自己決定の場を与え、自己の可能性の開発を援助すること」の3つの機能をあらゆる教育活動に生かすことで、個々の児童生徒の自己指導力の育成を図ります。



道徳の授業研究会

- 児童・生徒指導の全体計画を全教職員が共通理解し、連携協力して取り組みます。
- 学級担任と教育相談係、スクールカウンセラー市教育相談員との連携を図りながら相談活動の 実践に努めます。
- 一人ひとりが居がい感のもてる学級づくりに努め、いじめ・問題行動等の未然防止に学校の総力をあげて取り組みます。
- 地域で子どもたちの心を育み、いじめ、問題行動等の起きにくい環境づくりに努めます。

エ 人権教育の推進

- 県や市の人権教育の基本方針をふまえ、全教職員の共通理解のもとに、人権教育に積極的に取り組みます。
- 様々な人権問題に関する学習については、人権教育との関連、人権教育の視点、授業の中で生かしたい児童生徒、人権教育上の配慮を明確に位置付け、重点的に指導します。
- 教職員自身の人権感覚、人権意識を醸成していくための校内研修を充実させます。

オ 不登校の未然防止と解消

- 不登校を未然に防止するため、学校と家庭、行政など関係機関との緊密な連携を図ります。
- 教育相談・支援体制の充実を図ります。
- 「適応指導教室（チャレンジハウス）」の適切な運営に努めます。

カ 小・中連携・小中一貫教育の強化

- 小・中学校の教職員の交流、児童生徒との交流を実施し、9年間を通して生きる力を育む、小中連携・小中一貫教育を実施します。
- 各中学校区における小・中学校間の連携推進体制の整備を図ります。

(4) 体力の向上と健康の増進

ア 健康と体力の増進

- 学校の全教育活動を通して、計画的、組織的な指導を行い、体力の向上と健康の増進を図ります。
- 体育・保健体育の授業においては、学習指導要領の趣旨や目標、新体カテストの結果等をふまえ、体力の向上のために、適切な運動量や体力を高める要素を盛り込み実践します。

イ 健康管理・指導の充実

- 「学校保健安全法」に基づき、学校保健計画の作成、保健管理、保健指導、健康相談活動、校内の環境衛生管理等に努めます。
- 健康診断の事後指導の適正指導と自己の発達状況の累加記録を行い、その活用を工夫します。

ウ 食に関する指導の充実

- 「食に関する指導」の必要性を全教職員が再認識し、食に関する指導の全体計画、年間指導計画等を作成し、学校教育活動全体を通して体系的に食に関する指導を行います。
- 学級担任と栄養教諭や学校栄養職員等が連携を図り、児童生徒の健全な食生活を支援します。
- 楽しい給食のための環境作りを工夫するとともに、食事を通して望ましい栄養や食事を理解させることに努めます。
- 学校給食施設及び設備の改善・充実に努めます。

(5) 特別支援教育の推進

ア 校内の支援体制の充実

- 各学校において、学校経営の方針に位置付け、特別支援教育コーディネーターを中心に、全教職員の共通理解のもと、組織的な支援体制を整えます。

イ 教育支援の適正化

- 就学児については、幼稚園・保育所・子ども課等の諸機関と連携し、適切な教育支援を行います。
- 在校児童・生徒については、校内判定委員会を充実し、計画的な運営を図り、適切な教育支援が行われるよう指導します。

ウ 通級指導教室との連携

- 児童一人ひとりの教育的ニーズに応じるため、矢板小学校内に設置している通級指導教室（つじ教室）と各小学校との連携を図ります。

エ 巡回相談の実施

- 巡回相談を実施し、特別な配慮を要する児童に対する支援・指導のあり方の助言をするとともに、学校全体の支援体制の充実に努めます。

(6) 国際化、情報化に対応する教育

ア 小学校外国語活動の実施と中学校外国語指導の充実

- 文部科学省から教育課程特例校の指定を受けており、年間指導計画をもとに小学校第1学年か

ら外国語活動を実施します。

【外国語活動特例校の実施】

1. 目的

学校教育行政の基本指針「国際社会に目を向け、郷土矢板を愛する心をもつ児童生徒を育成する。」のもとに平成16年度より英語指導助手を配置し、英語活動を実施してきました。さらに、平成21年度より市内全小学校に新設外国語活動を新設し、学級担任と外国語指導助手（ALT）とのチーム・ティーチングで授業を行っています。

2. 授業について

小学校第1・2学年は歌やゲーム、簡単なあいさつなどを通して「英語にふれる」こと、第3・4学年は簡単な英語を使って身近な場面で質問したりする体験を通して「英語に慣れる」ことをねらいとし、児童の発達の段階を考慮した授業の展開を実施しています。

- 小学校高学年で英語教材「Hi, friends!」を活用して外国語活動を実施します。
- ALT（外国語指導助手）を5人配置し、英語教育、国際理解の充実に努めます。
- 教職員の研修

小学校の学級担任全員を対象に、矢板市教育研修所主催の英語活動研修会を実施したり、中学校英語科と接続の在り方を研修し、教師の指導力の向上を図っています。

- 海外派遣事業

中学校2年生を対象に中学生海外派遣事業を実施し、子どもたちの外国語への興味・関心を高め、国際人としての基礎を培っています。



中学生海外派遣事業(授業体験)



中学生海外派遣事業(ホームステイ)

イ 情報活用能力の育成

- パーソナルコンピュータ、電子黒板等の情報機器を活用し、情報活用の実践力、情報の科学的な理解、情報社会に参画する態度の3つの観点からなる情報活用能力をバランスよく身に付けさせます。
- 市教育研究所でデジタル教材の研修を行い、各学校に広めていきます。

ウ 情報モラルの育成

- 児童・生徒の情報通信ネットワーク等の利用やスマートフォン・携帯電話利用の実態をふまえ、学校と家庭が連携して、情報モラルを身に付けさせる指導を発達段階に応じて行います。ICT支援員を活用することで、効果的な指導を進めます。

(7) 開かれた学校づくりと特色ある教育活動の推進

ア 小中一貫・連携教育の実施

基本理念 ふるさと矢板を愛し、「生きる力」を育む小中一貫・連携教育

○ ねらい

- (1) 小学校から中学校へ進学する際の円滑な接続を図ります。
- (2) ふるさと矢板を愛する心を育て、児童生徒一人ひとりの個性と能力を伸長し、確かな学力・豊かな心・健やかな体などの「生きる力」を育成します。

○ 教育活動の内容

(1) 安定した人間関係づくり

児童生徒同士の安定した人間関係づくりにより、学びに向かう集団を形成します。

(2) 教職員の合同研修

- ・小中学校の教職員が相互の授業を参観し、子どもの姿を通して、児童・生徒理解や学習指導について相互理解を図り、児童生徒の9年間を見通した授業や環境づくりに努めます。
- ・宇都宮大学教育学部との連携により、小中一貫・連携教育の在り方の実践と研究を進めます。

(3) 児童生徒の交流

- ・合同発表会
- ・合同クリーン活動
- ・地域行事への参加

【泉地区小中一貫教育】

- ・泉地区小中一貫教育を実施し、9年間を通して生きる力を育みます。
- ・市独自に学校講師を採用し、30人学級によるきめ細かな指導を行います。

イ 学校・家庭・地域の連携強化

- 学校支援地域本部事業（人材バンク等）を活用して、特色ある教育活動を充実させます。
- 各家庭や地域との協力体制の充実と連携を深め、学校生活・家庭生活・地域での生活の充実を図ります。
- 教職員と保護者並びに地域社会との信頼関係を深めます。



泉地区小中一貫教育研修

ウ キャリア教育の推進

- 将来の職業や生活への見通しをもたせ、学ぶことや働くこと、生きる事の尊さを実感させる教育を充実し、学ぶ意欲を高めるように努力します。
- キャリア・スタート・ウイークとして、職場体験学習（マイチャレンジ）を実施し、前向きに将来の生き方や進路を考え、自己の将来を設計する能力と態度を育てます。

(8) 教職員の資質の向上

ア 校内研修の充実

- 日々の授業を通して教材研究を深め、授業力の向上に努めます。
- 学校課題を設定し、学校が主体的に、組織的に研究を推進します。特に、課題解決のための具体的な方策を立て、その実践に努めます。
- 小中合同の研修を実施することで、異校種の理解を深め、教員としての考え方を広げます。
- 宇都宮大学との連携により、計画的に指導、助言を設けることにより校内研修の在り方の見直しとその充実に努めます。

イ 教育研究の推進

- 市教育研究所の主催研修への積極的な参加を促し、教職員の資質向上に努めます。
- 市教育研究団体の健全育成を図り、研修へも積極的に参加し、自主研修への意欲を高めます。

(9) 学校環境の整備と安全教育の充実

ア 学校環境の整備

- 施設設備の安全点検を計画的に行い、教育活動の条件整備に努めます。

イ 安全危機管理

- 危機管理マニュアルの見直しを行い、地震、竜巻、雷等さまざまな場面における教職員の協働体制や緊急行動体制を整えるとともに、家庭や地域、警察等の関係機関との連携を図り、事故防止の徹底に努めます。

ウ 安全教育の徹底

- 各学校において、生活安全、交通安全、災害安全についての安全教育を各教科等との関連を図りながら内容を検討し、指導の充実に努めます。

エ 登下校の安全確保

- 児童生徒の登下校の安全を確保するために、全小学校区に学校安全ボランティア（スクールガード）を配置します。
- 泉小学校、矢板小学校のスクールバスを利用する児童のバスの乗降も含めた安全指導を徹底します。
- 学区の安全マップを活用して登下校の安全指導を徹底します。

5 小・中学校概要

(1) 学校長・児童生徒数・学級数・教育目標等

学校名	校長名	教頭名	所在地	電話 FAX	創立 年月日	児童生徒数 (特別支援学級)	学級数 (特別支援学級)	県費 職員数	市費 職員数 (非常勤)	職員計
矢板小	石川 幸夫	八嶋 純子	本町4-23	43-0043 43-4420	明7 2.1	365 (10)	14 (2)	24	6 (5)	30 (5)
東 小	和氣 由美子	船見 益夫	東町616	44-2515 43-4421	昭50 4.1	451 (17)	19 (3)	31	11 (6)	42 (6)
川崎小	伊藤 由悟	檜 誠子	木幡1646	43-0265 43-4423	明6 4.1	138 (2)	7 (1)	12	2 (2)	14 (2)

教育目標	主な学校経営方針	主な重点課題
<p>子どものよさを生かし、確かな学力を身に付け、健康で豊かな心をもった子どもを育成する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○考える子ども ○思いやりのある子ども ○元気な子ども 	<p>全教職員が主体性、創造性をもって学校経営に参画し、学校組織の総力を挙げて特色ある教育を展開するにより、児童一人一人が意欲的に取り組み、現在および将来において自己実現が図れるようにする。</p> <p>本校教育の基盤となる歴史と伝統を継承し、家庭や地域社会とより一層の連携を深める。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 教職員の資質の向上 2 学力の伸長 3 個性を生かす教育の推進 4 特別支援教育の推進 5 心の教育の推進 6 たくましい児童の育成 7 開かれた学校づくり 8 学校環境の整備 9 危機管理 	<p>(1)教育方法の改善と充実 基礎的・基本的な知識及び技能の確実な定着自ら考え、判断し、表現する力の育成家庭と連携し「ほめて育てる」教育の実践</p> <p>(2)豊かな心を育成する教育活動の充実 教育活動全体を通じた道徳教育と、特別支援教育の充実規律と居がい感のある学級集団づくり個を生かし自己実現を図る教育活動の推進</p> <p>(3)豊富な運動量と楽しさを味わう運動機会の創出 運動量の確保と運動の楽しさを意図した体育科の授業展開の工夫 外遊びの奨励や季節に合わせた運動の機会の提供自他の安全に考慮した生活を実践できる子どもの育成</p>
<p>(1)基本目標 一人一人の能力・個性の伸長を図り、心身共に健康で、主体的に学習する児童を育成する。</p> <p>(2)具体目標(望ましい児童像)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・明るくたくましい子ども ・助け合ってがんばる子ども ・本気で学習する子ども 	<p>児童への熱い思いと自ら学び続ける意欲や教育への情熱と使命感をもった教職員団体を組織し、協働して「安心安全で、今日が楽しく、明日が待ち遠しい東小学校」づくりに努めるとともに、児童一人一人に知・徳・体の調和のとれた「生きる力」を育成する。</p> <ol style="list-style-type: none"> (1)学習指導要領の趣旨を踏まえ、学校評価結果、児童・地域・学校の実態等を生かし学校教育目標達成のために、創意工夫を加えた教育課程を編成する。 (2)一人一人の内面理解を徹底し、いじめ・不登校・問題行動等への組織的対応の充実を図る。また、そのような問題の未然防止に向けて、一人一人が尊重され、自己有用感の感じられる集団づくりに取り組む。 (3)学力調査等の結果を踏まえ、「基礎基本の徹底」(知識)・「思考力の育成」(活用)「学び方の育成」(学習意欲・学習習慣)を目指す学習指導に努める。 (4)温もりと安らぎのある教育活動を展開し、心身ともに健康でやさしさと何事にもくじけない強さをもった子どもを育成する。 (5)教職員評価システムや校内研修をとおして、教職員の職責について自覚し、常に厳しく自らの姿勢を見つめ直すとともに、勤労意欲の向上に努める。 (6)協働遂行力・授業力・学級経営力の3つの教師力を高めるため、実践的な職員研修を行なうなど、教職員の資質向上に努める。 (7)児童の個々の実態を的確に把握し、個に応じた指導内容や指導方法を工夫し、効果的な指導に努める。また、教職員間の連携を図るとともに、研修の充実を図る。 (8)地域の教育的資源を最大限活用するとともに、地域に開かれた学校、地域に支えられている学校、地域に貢献できる学校を目指し、ふれあい学習を推進する。 (9)児童が安全で快適なゆとりある環境の中で学習できるよう、校舎等の整備や学びを高める環境の整備・活用に重点を置く。 	<p>[明るくたくましい子ども(体育)] ・「基礎体力の育成」と「健康な生活を実践する態度の育成」を図る。</p> <p>[助け合ってがんばる子ども(徳育)] ・「望ましい人間関係の醸成と生活習慣の育成」と「最後までやり抜こうとする心の育成」を図る。</p> <p>[本気で学習する子ども(知育)] ・「主体的に学ぶ児童の育成」と「一人一人を生かす学習指導の充実」を図る。</p>
<p>自分らしさを発揮し、心豊かにたくましく生きる「川崎っ子」の育成を目指す。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○進んで学ぶ子 ○思いやりのある子 ○たくましい子 	<p>教職員一人一人の主体性や創造性を生かし、子どもが活き、親が活き、教職員が活きる「楽しく活気あふれる学校づくり」に努めるとともに「一人一人が自らの学びと成長を実感できる学校づくり」に努める。</p> <ol style="list-style-type: none"> (1)全教職員が、専門職としての使命感と責務を自覚し、研修と研鑽に励み、連帯と協調の精神をもち、自らの指導力や資質の向上に努める。 (2)基礎的・基本的な学力の向上を図るとともに、自ら学び・自ら考える力を身に付けさせ、自分の考えを表現できる児童の育成に努める。 (3)基本的な生活習慣や規範意識を身に付けるとともに、自他のよさに気づき、よりよい生活や温かい人間関係をつくり出す態度を育てる。 (4)体力や健康の増進、食育の推進や安全に関する指導の充実に努め、主体的に判断行動できる、心身共に健康な体をつくる。 (5)特別な支援を必要とする児童に対し、正しい理解と認識をもち、全校体制で適切な指導・支援を行う。 (6)児童・保護者・地域の実態を生かした特色ある教育課程の編成を図る。 (7)安全教育と安全対策を万全に行い、児童が主体的に活動できる環境づくりに努める。 (8)家庭・地域社会・関係諸機関との連携を深め、地域に開かれた学校づくりに努める。 	<p>◎基礎的・基本的な学力の向上</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自信をもたせる授業づくり ・読み・書き・計算力の向上 ・一人一人の活躍の場づくり <p>◎基本的な生活習慣・社会規範の育成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・規範意識の高い集団づくり ・校内生活指導目標の推進 ・ルールやマナーを守る子の育成 <p>◎体力増進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全校体力づくりの充実 ・全校運動の工夫・改善

学校名	校長名	教頭名	所在地	電話 FAX	創立 年月日	児童生徒数 (特別支援学級)	学級数 (特別支援学級)	県費 職員数	市費 職員数 (非常勤)	職員計
西 小	小川 光正	谷口 好正	幸岡1498-1	43-0263 43-4424	昭和47 4.1	25	3	8	2 (2)	10 (2)
豊田小	黒田 恵利子	大田原宣夫	豊田802	43-0332 43-4426	明7 9.1	40 (沢分教室1)	5 (沢分教室1)	10	2 (2)	12 (2)
泉 小	黒川 保二	加倉井千秋	泉378	43-0404 43-4427	明7 10.20	115 (6)	8 (2)	14	4 (4)	18 (4)

教育目標	主な学校経営方針	主な重点課題
<p>一人一人の児童の能力や適性の開発・伸長を図り、心身ともに健全な児童の育成を目指す。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○たしかな学力をもった子 ○自分もみんなも大切にできる子 ○心もからだも健康な子 	<p>ワクワク感あふれ、一人一人に小さな自信を育てる学校</p> <p>1 教育方法の改善と充実 施策1-(1)・(2)</p> <p>2 心の教育の推進 施策2-(1)・(4)、11-(3)</p> <p>3 家庭・地域社会との連携の充実 施策2-(2)、7-(2)</p> <p>4 学校安全の推進及び学校施設・設備の充実 施策3-(4)、教環4-(3)</p> <p>5 教職員の資質・能力の向上 教環1-(2)</p>	<p>1 「たしかな学力をもった子」の育成 ☆は重点項目 具体策『でとに学習～自分㉔ みんな㉕ 先生㉖』 ☆(1)主体性を育む授業の実践 (2)基礎的・基本的な知識・技能の確実な定着 (3)学習環境の整備と充実</p> <p>2 「自分もみんなも大切にする子」の育成 具体策『3つのあ～㉗んぜん ㉘いさつ ㉙としまつ』 ☆(1)基本的な生活習慣の徹底 (2)豊かな人間関係の醸成</p> <p>3 「心もからだも健康な子」の育成 具体策『ナウマくん～㉚んどもかんで ㉛んどう ㉜いにち』 ☆(1)保健指導・食に関する指導の徹底 (2)自然環境を生かした体力づくり (3)安全教育と危機管理の充実</p> <p>4 地域とともにある学校づくり ☆(1)家庭や地域との連携強化 (2)積極的な情報公開 (3)接遇の充実</p>
<p>心身共に健康で創造的な知性と、豊かな情操をそなえ、自ら学び、自ら考え、正しく判断し実践できる児童を育成する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○進んで学ぶ子 ○思いやりのある子 ○元気な子 	<p>1 指導力の向上・教育愛・豊かな人間性を目指す教職員の資質向上</p> <p>2 基礎・基本の確実な定着と学習指導の工夫・改善(聡さ)</p> <p>3 健康で安全な生活と運動を通じて体力と心身の調和的発達を図る</p> <p>4 道徳教育や人権教育、体験学習を核とした心の教育の充実</p> <p>5 様々な情報の発信と安心・安全を確保する開かれた学校づくり</p>	<p>1 外国語活動の工夫と授業における学び合い活動の充実 (コミュニケーション力アップ)</p> <p>2 漢字力・計算力の向上のためのドリルタイムの実施(基礎力アップ)</p> <p>3 道徳教育の充実と相手を尊重する態度の育成と明るいあいさつの習慣化 (マナーアップ)</p> <p>4 家読・読み聞かせ・読書の貯金通帳を活用した読書指導の充実(読書アップ)</p> <p>5 準備運動の工夫や体育学習カードを活用した教科体育の充実とハッスルタイムやTOYOTAソーランの発表などでの体力向上の工夫(体力アップ)</p>
<p>一人一人のよさを伸ばし、ふるさとを愛する心と豊かな心、自ら学ぶ力を育て、国際社会の中でたくましく生きる児童生徒を育成する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○進んで学ぶ子 ○思いやりのある子 ○たくましい子 	<p>教職員一人一人が主体的・創造性をもって学校経営に参画し、協働・協調を基盤とした組織力を高め、愛情と情熱をもって「生きる力」を育成する。</p> <p>(1)教職員一人一人が使命感を自覚し、絶えず自己研鑽に励み、指導力や資質の向上に努める。</p> <p>(2)泉地区小中一貫教育を見据えた創意ある教育課程の編成と実践に取り組み、好ましい人間関係づくりや学力向上に努める。</p> <p>(3)授業の質的向上を図り、基礎的・基本的な知識・技能を確実に身に付けるとともに、それらを活用して思考力や判断力、表現力を高める。</p> <p>(4)教育相談や客観的なデータをもとに、児童一人一人の特性を見極め、存在感のある学年・学級経営に努める。</p> <p>(5)個々の児童の内面理解に努め、特に配慮を要する児童について共通理解し、全校体制で特別支援教育の充実を図る。</p> <p>(6)体育や健康に関する指導を通して体力や気力を養い、最後までやり抜く心身ともに健康な体をつくる。</p>	<p>1 基礎的・基本的な知識・技能の習得 ○基礎・基本を確実に身に付けさせる指導の工夫 ◎読む力を伸ばす指導の実践</p> <p>2 思考力・表現力等の向上 ◎わかる・できる楽しい授業の工夫 ○授業の中で話し合う場、書く場の積極的な設定</p> <p>3 存在感のある学級づくりの推進 ◎自尊感情を高める支援の工夫 ○励まし合い・認め合い・協力し合う人間関係づくり</p> <p>4 基本的な生活習慣と社会規範の育成 ◎学級経営を基盤にし、全校体制で取り組む生活指導 ○心に響く道徳教育の実践</p> <p>5 たくましい体力・気力づくりの推進 ◎粘り強く取り組む態度の育成 ○外遊び、運動の奨励進んで運動に取り組む教科体育の充実</p> <p>6 健康・安全指導の徹底 ◎望ましい衛生習慣の形成 ○交通・防犯・災害時の予防と対応力の育成</p>

学校名	校長名	教頭名	所在地	電話 FAX	創立 年月日	児童生徒数 (特別支援学級)	学級数 (特別支援学級)	県費 職員数	市費 職員数 (非常勤)	職員計
片岡小	岡田 明秀	根本富士夫	片岡2095-79	48-0510 48-3390	明6 5.28	282 (7)	14 (2)	23	9 (4)	32 (4)
乙畑小	鈴木 悦子	村島恵美子	乙畑1902	48-0610 48-3391	明13 5.27	75	6	11	1 (0)	12 (0)
安沢小	大貫 佳浩	齋藤 孝浩	安沢1482	48-1005 48-3392	明8 6.26	111	6	12	2 (2)	14 (2)
小学校計						1,602 (42)	82 (10)	145	39 (27)	184 (27)

教育目標	主な学校経営方針	主な重点課題
<p>片岡小学校の児童としての誇りと自覚をもち、気力と体力を高め、自ら学び続ける人間性豊かな児童を育成する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・進んで学び考える子ども ・思いやりのある子ども ・元気でねばり強い子ども 	<p>教職員一人一人が主体性・創造性をもって学校経営に参画し、協働、協調、切磋琢磨を基盤とした組織力を高め、愛情を込めて児童に「生きる力」を育成する。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 教職員の資質の向上 2 基礎的・基本的な学力向上、主体的に学ぶ児童の育成 3 道徳教育の充実、人権教育の推進、心の教育 4 体力増進、健康・安全の充実 5 特別支援教育の推進 6 特色ある学校づくり 7 教育環境の充実 8 開かれた学校づくり 9 危機管理 	<p>本校の伝統と歴史を継承、発展させながら、足元を見つめて以下の3項目を経営の方針に色濃く組み入れ、家庭や地域、関係機関の協力を得て指導・支援に当たる。</p> <ol style="list-style-type: none"> ①基礎・基本の確実な定着と主体的に学ぶ児童の育成…基礎的・基本的な知識・技能の定着・ねらいの実現を意識した授業づくり・学習意欲の向上・学習習慣の確立 ②規律ある生活習慣の定着と豊かな心の育成…基本的生活習慣の形成と定着・道徳教育の充実・人権教育の充実・異学年交流の充実・一人一人を大切にする学級経営 ③安全に対する意識の向上とたくましい心身の育成…体力づくりの充実・心身の健康の保持増進・勤労奉仕活動の充実・学校内外の安全に対する態度の育成・交通安全指導の充実
<p>一人一人の個性を生かし、確かな学力とよりよく問題を解決する資質や能力を育み、生涯にわたり心豊かにたくましく生きる力を育成する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ☆進んで学ぶ子 ☆思いやりのある子 ☆健康で体力のある子 	<p>児童一人一人を尊重し、小規模校の良さを活かした明るく生き生きとした居が感じのある学校づくりを通して「自己有用感」の育成を図る。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 基礎・基本の確実な定着と活用力の育成を図ると共に、児童一人一人に「生きる力」を育む教育課程の編成と実施に努める。 2 教職員一人一人が自己研鑽に励み、使命感をもって「できる、分かる、楽しい授業」を目指した学習指導の工夫・改善に努める。 3 教育における今日的な課題や喫緊の課題についての理解を深め、実践に生かせるよう研修の充実に努める。 4 道徳教育や人権教育の充実に図り、よりよく生きるための基盤を養う。 5 縦割り班を活かした教育活動を推進することにより思いやりの心を育成する。 6 教科体育やパワーアップタイム等で運動量を確保するための工夫を行い、体力の向上に努める。 7 児童の健康や安全について、計画的な教育を推進していく。 8 配慮を要する児童に対し保護者や関係諸機関との連携を基盤とした支援を行い、充実した教育を行っていく。 9 家庭や地域に開かれた学校づくりを推進する。 	<ol style="list-style-type: none"> 1 めあてを持った主体的な学習をさせ、基礎・基本の確実な定着と活用力の育成を図る。 2 道徳教育と人権教育の充実に図る。 3 楽しく活動量に満ちた教科体育および体育的活動を充実する。 4 学校支援ボランティア等を通じて、家庭や地域との積極的な交流を図る。
<p>一人一人の個性と能力の伸長を図り、心身共に健康で、豊かな心をはぐくみ、主体的に学習する児童を育成する。(知・徳・体のバランスよい育成)</p> <p>具体目標</p> <ul style="list-style-type: none"> ○進んで学ぶ子(かしこさ) ○やさしい子(やさしさ) ○元気な子(たくましさ) <p>めざす学校像</p> <p>「一人一人が主役・輝く明るく楽しい安沢小学校」</p>	<p>元気 根気 やる気 振気 笑顔</p> <ul style="list-style-type: none"> ○子どもが学びたい学校「楽しい学校」 ○保護者が学ばせたい学校「信頼できる学校」 ○教職員が勤務したい学校「共に学ぶ学校」 ○地域と手を取り合う学校「地域とともにある学校」 <ol style="list-style-type: none"> 1 教職員の資質・能力の向上 2 創意ある教育課程の実施 3 学習指導の充実 4 道徳教育の充実 5 体力の向上・健康教育の充実 6 児童指導・特別支援教育の充実 7 地域とともにある学校づくり 8 危機管理・施設設備の活用 	<ol style="list-style-type: none"> 1 基礎的・基本的な知識、技能の習得 基本施策1 【学習習慣の定着、自分の考えを表現できる学習活動の展開】 2 主体的に学習する授業の工夫 基本施策1・7・8 【見通しのもてる授業の展開、個に応じた指導の充実】 3 学習意欲の向上と学習習慣の確立 基本施策1・13 【学習環境づくり、家庭学習の習慣化】 4 規範意識の高揚(学習、生活、道徳) 基本施策2 【あいさつの習慣化、きまりを守って生活する意識の向上】 5 望ましい集団づくり基本施策2・11 【互いに認め合う温かな学級づくり】 6 飼育、栽培、自然活動の推進 基本施策2 【飼育栽培活動の充実】 7 体力向上を図る指導の充実 基本施策3・15 【教科体育の充実、体力作りの奨励】 8 健康で安全な生活の習慣化 基本施策3 【基本的生活習慣の育成、安全指導の徹底】 9 食に関する指導の充実 基本施策3・13 【食に関する指導の充実、食に関する関心の高揚】

学校名	校長名	教頭名	所在地	電話 FAX	創立 年月日	児童生徒数 (特別支援学級)	学級数 (特別支援学級)	県費 職員数	市費 職員数 (非常勤)	職員計
矢板中	小林 一正	坂和 昌生	上町20-7	43-0144 43-4430	昭22 4.1	590 (11)	21 (2)	40	9 (3)	49 (3)
矢板中 沢分校		佐藤 明彦	沢800	43-0090 43-6886	平12 4.1	11 (3)	3 (1)	9		9
泉 中	築瀬 のり子	増渕 直嗣	泉526	43-0407 43-4431	昭22 4.28	69	3	12	4 (3)	16 (3)
片岡中	小川 敏広	小川 孝博	片岡2139	48-0410 48-3393	昭22 4.28	217 (6)	9 (1)	20	4 (3)	24 (3)
中学校計						887 (20)	36 (4)	81	17 (9)	98 (9)

教育目標	主な学校経営方針	主な重点課題
<p>生徒一人ひとりの個性を尊重し、豊かな心と強靱な身体を持ち、自主性と英知に富み、将来国際社会においても信頼を得る人間を育成する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自ら学ぶ生徒 ・思いやりのある生徒 ・たくましい生徒 	<p>目指す学校像</p> <ul style="list-style-type: none"> ○生徒が学びたい学校<楽しい学校> ○保護者が学ばせたい学校<安全で信頼できる学校> ○教職員が勤務したい学校<共に学ぶ学校> ○地域とともに歩む学校<開かれた学校> <p>生徒の自己肯定感、学校の安心・安全を最重要視し、未来を創造する確かな学力と豊かな心を持つ、活力に満ちた生徒の育成を目指し、教職員・保護者・地域が協働遂行力を発揮し、活力と創意に満ちた温もりのある学校経営を推進する。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 創意ある教育課程の実施 2 自己指導能力を育む生徒指導の充実 3 主体的・協働的な学習指導の充実 4 教職員の資質・能力の向上 5 特別支援教育の充実 6 開かれた学校の推進 7 学校施設・設備の活用 8 危機管理・安全管理の徹底 	<ol style="list-style-type: none"> 1 分かる・できる・楽しい授業づくりの展開 2 主体的・協働的な学習の推進 3 あいさつ運動の推進と日常の清掃活動の徹底 4 不登校生徒減少への取組みの充実 5 交通規則の遵守と交通マナーの向上 6 情報モラル、個人情報保護の指導の徹底
<p>生徒一人ひとりの個性を重視し、豊かな心と強靱な身体を持ち、自主性と英知に富み、将来、国際社会においても信頼を得る人間を育成する。</p> <p>具体目標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自ら学ぶ生徒 ・思いやりのある生徒 ・たくましい生徒 	<ol style="list-style-type: none"> 1 教職員としての使命と責務を自覚し、資質の向上に努める。 2 那須学園と連携協力して、生徒一人一人の教育的ニーズに応じた自立に向けての教育活動を展開する。 3 生徒一人一人にできる・分かる喜びを与えられる授業を展開する。 4 望ましい人間関係を育てるとともに、自己肯定感を高める指導を充実させる。 5 耐性や規範意識など社会適応に必要な力を育成し、自立を支援する教育を推進する。 	<ol style="list-style-type: none"> 1 個に応じた指導法の工夫改善による基礎的な学力の確実な定着 2 那須学園との共催行事や分校行事、総合的な学習の時間等での体験活動の充実、自己肯定感、達成感の醸成 3 対人関係や社会生活に必要なモラルやスキルの習得とその活用 4 那須学園との連携協力による個別支援計画に基づく指導の充実 5 前籍校との緊密な連携強化
<p>一人一人のよさを伸ばし、ふるさとを愛する心と豊かな心、自ら学ぶ力を育て、国際社会の中でたくましく生きる生徒を育成する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・進んで学ぶ生徒 ・思いやりのある生徒 ・たくましい生徒 	<p>小規模校のよさを最大限に生かし、「全教職員が協働して全生徒をていねいに育てる」ことで、生徒の主体性を育て、一人一人のよさを伸ばす学校づくりに努める。</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 泉地区小中一貫教育を踏まえた創意ある教育課程を編成・実施し、一人一人の学力を向上させるとともに、自己実現を図る。 (2) 「主体的・対話的で深い学び」を推進し、言語活動を一層充実させるなど授業の質的向上を図ることで、基礎的・基本的な知識・技能を習得し、それを活用して思考力・判断力・表現力等の向上を目指す。 (3) 「いきいき栃木っ子3あい運動」を基盤に、よりよい人間関係づくりに努めるとともに、道徳教育や人権教育を充実させ、自らの生き方について考えを深める。 (4) 全校体制で特別支援教育の充実を図り、生徒一人一人の特性を十分理解しながら、実態に即した教育的支援の実践を推進する。 (5) 食育、健康・安全教育、体力づくりを推進し、自らの健康や安全を考えて主体的に行動できるたくましい生徒を育成する。 	<ol style="list-style-type: none"> 1 基礎的・基本的な知識・技能の習得 2 思考力・判断力・表現力等の向上 3 社会性の育成を目指す生徒指導の充実 4 考えて行動する生徒の育成 5 体力づくりの充実 6 たくましい気力の増強
<p>生徒一人一人の個性を尊重し、自主性を育てるとともに、創造性・社会性を培い、国際社会人としての資質を高め、豊かな心と強い体を持ったたくましい生徒を育成する。</p> <p>具体目標</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 主体的に学習する生徒 (2) 誠実で思いやりのある生徒 (3) 健康でたくましい生徒 	<p>活力！ 感動！ さわやか片中</p> <p>活力…さわやかなあいさつと生き生きとした生活態度 感動…毎日が感動のある学校生活 さわやか片中…片岡中から地域にさわやかな風を届けよう</p> <p>生徒一人一人の可能性を信じ、よさの伸長を目指して、教職員が活気と連帯感に満ちた中で自信を持って学校経営に参画することで、生徒主体の感動のある学校を創造する。</p> <p>☆経営の視点</p> <ul style="list-style-type: none"> ア 人権尊重の精神を基盤とし、知・徳・体の調和のとれた生徒の育成を目指す イ 生徒主体の多様な教育活動を通して、心豊かで自立心に富んだ生徒の育成を目指す ウ 確かな学力を身に付け、自ら課題を解決しようとする生徒の育成を目指す エ 家庭・地域コミュニティと連携し安心安全で、開かれた学校づくりを目指す オ 効率的な学校運営のための事務処理と互いに協力し高め合う学校を目指す 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 学力向上のための教育課程の工夫 ○ 人権教育を基盤とした特色ある教育活動の推進 ○ 深く考え議論する道徳教育への改善 ○ 組織的生徒指導の充実 ○ 地域に開かれた学校づくりの推進 ○ 生命尊重の教育と健康安全教育の推進

(2)児童・生徒数、学級数の推移

区分 年度	小学校			中学校		
	学校数	児童数	学級数	学校数	生徒数	学級数
6	12	2,813	105	3	1,510	42
7	12	2,752	104	3	1,498	42
8	12	2,721	103	3	1,435	41
9	12	2,619	100	3	1,479	42
10	12	2,560	97	3	1,397	40
11	12	2,455	97	3	1,389	39
12	12	2,373	96	4	1,340	41
13	12	2,263	96	4	1,340	41
14	12	2,150	95	4	1,239	42
15	12	2,150	95	4	1,239	42
16	12	2,160	93	4	1,156	41
17	12	2,104	95	4	1,112	42
18	12	2,053	90	4	1,075	40
19	12	2,052	90	4	1,079	40
20	12	2,032	90	4	1,059	39
21	9	2,006	81	4	1,055	40
22	9	1,969	79	4	1,040	42
23	9	1,929	78	4	1,008	41
24	9	1,897	79	4	934	38
25	9	1,859	80	4	894	36
26	9	1,802	79	4	896	35
27	9	1,718	79	4	926	37
28	9	1,681	80	4	925	37
29	9	1,602	82	4	887	36

(3) 学校給食

5月1日現在

名 称	矢板中央学校 給食共同調理場 (矢板小学校内)	矢板東学校 給食共同調理場 (東小学校内)	矢板北学校 給食共同調理場 (矢板中学校内)	泉学校 給食共同調理場 (泉中学校内)	片岡学校 給食共同調理場 (片岡小学校内)
所在地	矢板市本町4-23	矢板市東町616	矢板市上町20-7	矢板市泉526	矢板市片岡2095-79
開 設	昭62. 4. 1	平14. 4. 1	平3. 4. 1	平2. 4. 1	昭63. 11. 11
構造及び面積	鉄骨造 249㎡	鉄骨造157㎡	鉄骨造261㎡	鉄骨造 273㎡	鉄骨造 289㎡
供給食 (食数)	小学校 2校 矢板小学校 413食 川崎小学校 156食 計 569食	小学校 2校 東小学校 529食 西小学校 44食 計 573食	小学校 1校 中学校 1校 安沢小学校 138食 矢板中学校 658食 計 796食	小学校 2校 中学校 1校 豊田小学校 49食 泉小学校 132食 泉中学校 90食 計 271食	小学校 2校 中学校 1校 片岡小学校 312食 乙畑小学校 87食 片岡中学校 243食 計 642食
調 理	民間委託	直 営	直 営	民間委託	直 営
運搬及び距離	矢板小学校に給食施設を設置し、川崎小学校までの距離2km、所要時間10分、業者へ委託	東小学校に給食施設を設置し、西小学校までの距離4km、所要時間15分、業者へ委託	矢板中学校に給食施設を設置し、安沢小学校までの距離5km、所要時間15分、業者へ委託	泉中学校に給食施設を設置し、豊田小学校までの距離9.5km所要時間20分。泉小学校までの距離0.7km、所要時間5分、業者へ委託	片岡小学校に給食施設を設置し、乙畑小学校までの距離2km、所要時間10分、片岡中学校までの距離1.5km、所要時間10分、業者へ委託
所長等	所長 矢板小学校長 副所長 2名	所長 東小学校長 副所長 2名	所長 矢板中学校長 副所長 2名	所長 泉中学校長 副所長 3名	所長 片岡小学校長 副所長 3名
職 員	栄養教諭 1名 調理員 業者委託	栄養士 1名 調理員 5 (1)名	栄養教諭 1名 調理員 7 (2)名	栄養士 1名 調理員 業者委託	栄養士 1名 調理員 6 (2)名

(調理員数 () 内は、パート数を再掲)

(4)小・中学校施設状況

学校名	校 地		校 舎		
	面 積㎡	児童生徒 1人当り㎡	構 造	面 積㎡	児童生徒 1人当り㎡
矢板小	31,519	78.0	鉄筋コンクリート造3階建鉄骨造	5,717	15.7
東 小	31,118	62.5	鉄筋コンクリート造2階建・3階建	4,731	10.5
川崎小	21,019	162.9	鉄筋コンクリート造3階建	2,488	18.0
西 小	22,839	585.6	鉄筋コンクリート造2階建	1,904	76.2
豊田小	15,944	937.9	鉄筋コンクリート造3階建	2,497	62.4
泉 小	14,774	115.4	鉄筋コンクリート造3階建	2,676	23.3
片岡小	21,531	69.7	鉄筋コンクリート造2階建・3階建	3,870	13.7
乙畑小	19,174	314.3	鉄筋コンクリート造3階建	2,004	26.7
安沢小	34,226	257.3	鉄筋コンクリート造2階建	3,224	29.0
矢板中	54,183	92.9	鉄筋コンクリート造3階建	7,697	13.0
矢板中 沢分校	34,492	2,299.4	鉄筋コンクリート造1階建	1,271	115.5
泉 中	20,356	221.3	鉄筋コンクリート造3階建	3,050	44.2
片岡中	42,105	178.4	鉄筋コンクリート造3階建	4,637	21.4
計	363,280	137.4		45,766	18.4

屋内運動場		保有教室数		プール		給食室	
構造	面積㎡	普通教室	特別教室	コース	構造	構造	面積㎡
鉄骨造	1,421	20	13	25m×8コース (低)17m×8m	プレストレスト コンクリート	鉄骨造	249
〃	778	19	7	25m×6コース	〃	〃	157
〃	667	7	6	25m×5コース (低)25m×4m	〃		
〃	605	6	5	25m×5コース	〃		
〃	596	6	6	25m×6コース	コンクリート		
〃	668	9	7	25m×7コース	鋼製		
〃	775	15	7	25m×7コース	〃	鉄骨造	284
〃	605	6	6	25m×6コース	〃		
〃	775	7	8	25m×6コース	F R P		
〃	1,674	28	13	25m×9コース	コンクリート	鉄骨造	261
〃	657	(6)	(7)				
〃	1,066	6	10	25m×8コース	コンクリート	鉄骨造	273
〃	1,259	12	12				
〃	11,546	141 (6)	100 (7)				1,224

(5) 中学校の進路状況

年 度	男 女	進 学															
		県 内															
		国公立高校全日制・高専											国公立 高校 定時制	国公立 高校 通信制	国立 高等専 門学校	私立高校	
		普通	総合学科	農業	工業	商業	家庭	福祉	水産	その他の 専門学科	高専	特別支援 学校高等部				全日制	定時制 通信制
16	男	59	9	8	42	17	3			2		1	6	1	1	39	
	女	80	35	9	1	19	14			3		1	8	1	1	31	
	計	139	44	17	43	36	17			5		2	14	2	2	70	
17	男	57	24	7	45	8				1		4	8		3	31	2
	女	70	39	10		23	15			3			4			25	
	計	127	63	17	45	31	15			4		4	12		3	56	2
18	男	62	14	5	42	8	2						2		3	42	
	女	59	28	15		12	12	3				1	4	1		24	
	計	121	42	20	42	20	14	3				1	6	1	3	66	
19	男	69	24	11	29	4	4	2				3	2		2	28	1
	女	62	31	8	1	17	13	4		1			5			23	3
	計	131	55	19	30	21	17	6		1		3	7		2	51	4
20	男	52	30	10	37	9	4		1	1		6	3	1		27	2
	女	62	19	7		22	15	6		1		3	3			22	1
	計	114	49	17	37	31	19	6	1	2		9	6	1		49	3
21	男	57	12	10	36	7	2				1	2	5	1		33	3
	女	54	29	5		22	11	6		4		2	6			30	1
	計	111	41	15	36	29	13	6		4	1	4	11	1		63	4
22	男	41	18	5	33	4	1	1	1		1		3			40	2
	女	51	29	10		11	17	5		2		1	3			41	1
	計	92	47	15	33	15	18	6	1	2	1	1	6			81	3
23	男	42	21	6	34	2	3		1	1	2	3	6	2		36	1
	女	51	30	15	2	10	16	6				2	2			41	
	計	93	51	21	36	12	19	6	1	1	2	5	8	2		77	1
24	男	47	19	5	30	6	1		1		1	3	1			45	3
	女	50	27	6	2	12	13	8	1		1		2	3		39	3
	計	97	46	11	32	18	14	8	2		2	3	3	3		84	6
25	男	45	17	3	32	1	2					1	5			21	1
	女	55	27	10	3	11	14	8				1	1			28	
	計	100	44	13	35	12	16	8				2	6			49	1
26	男	37	15	6	48	7	5	2	1		3	2	3			28	3
	女	36	18	13	2	12	9	6								23	1
	計	73	33	19	50	19	14	8	1		3	2	3			51	4
27	男	47	17	8	29	3	1	1				2	4			36	
	女	39	18	10		10	7	5				1	4	2	1	29	3
	計	86	35	18	29	13	8	6				3	8	2	1	65	3
28	男	50	7	7	48	3		1	1			5	3			37	
	女	44	22	16	1	5	10	7				1	1			25	
	計	94	29	23	49	8	10	8	1			6	4			62	

5月1日現在の状況

者				計 ①	就 職 者 ②	教育訓練機関 等入学者・無 業・その他 ③	小 ① + ② + ③ 計 ④	内 就 職 し な が ら 進 学 し て い る 者 ⑤	合 計 ④-⑤	進 学 率 (%)
県		外								
国公立高校		私立高校								
全日制	定時制 通信制	全日制	定時制 通信制							
				188	2	7	197		197	95.4
		1		204		3	207		207	98.6
		1		392	2	10	404		404	97.0
		3	1	194	1	2	197	1	196	99.0
				189		5	194		194	97.4
		3	1	383	1	7	391	1	390	98.2
		1	2	183	1	3	187		187	97.9
			1	160		2	162		162	98.8
		1	3	343	1	5	349		349	98.3
1		2	1	183	1	4	188		188	97.3
			1	169	1		170		170	99.4
1		2	2	352	2	4	358		358	98.3
1		2		186		2	188		188	98.9
		1		162	1	4	167		167	97.0
1		3		348	1	6	355		355	98.0
			1	170		3	173	1	172	98.8
		3		173		1	174		174	99.4
		3	1	343		4	347	1	346	99.1
		2	1	153		3	156		156	98.1
		3	4	178		6	184		184	96.7
		5	5	331		9	340		340	97.4
		4	1	165		6	171		171	96.5
2		3	2	182		2	184		184	98.9
2		7	3	347		8	355		355	97.7
		2		164		1	165		165	99.4
		6		173		1	174		174	99.4
		8		337		2	339		339	99.4
		2		130	1	3	134		134	97.0
		1	3	162		1	163		163	99.4
		3	3	292	1	4	297		297	98.3
			4	164	2	2	168		168	97.6
			2	122	2		124		124	98.4
			6	286	4	2	292		292	97.9
2		1		151	1	1	153		153	98.7
1			4	134	1		135		135	99.3
3		1	4	285	2	1	288		288	99.0
		1	1	164	2	2	168		168	97.6
		2	3	137		2	139		139	98.6
		3	4	301	2	4	307		307	98.0

(6) 教育団体の研修計画

矢板市小中学校長会研修計画

研修テーマ 「新しい知を活かす確かな学力の育成を目指す教育活動の推進」
 —基礎・基本を身に付けさせるための特色ある教育活動—

No.	日時	会場	研修内容	担当	司会	備考
1	4月6日(木) 10:00~11:30	教育研究所	1 教育委員会指示・伝達事項 2 今年度の研修会事業計画 3 情報交換 4 その他		西 小	
2	5月10日(水) 9:00~12:00	教育研究所	1 教育委員会指示・伝達事項 2 課題研修 3 情報交換 4 その他		矢板小	
3	6月2日(金) 9:00~12:00	教育研究所	1 教育委員会指示・伝達事項 2 課題研修 3 情報交換 4 その他		東 小	
4	7月5日(水) 9:00~12:00	教育研究所	1 教育委員会指示・伝達事項 2 課題研修 3 夏季休業中の諸問題への対応 4 情報交換 5 その他		川崎小	
5	9月7日(木) 9:00~12:00	教育研究所	1 教育委員会指示・伝達事項 2 課題研修 3 夏季休業中の反省 4 情報交換 5 その他		豊田小	
6	10月4日(水) 9:00~12:00	教育研究所	1 教育委員会指示・伝達事項 2 課題研修 3 情報交換 4 その他		乙畑小	
7	11月8日(水) 9:00~12:00	教育研究所	1 教育委員会指示・伝達事項 2 課題研修 3 情報交換 4 その他		安沢小	
8	12月7日(木) 9:00~12:00	教育研究所	1 教育委員会指示・伝達事項 2 課題研修 3 冬季休業中の諸問題への対応 4 H28教育課程編成に向けて 5 情報交換 6 その他		矢板中	
9	1月10日(水) 9:00~12:00	教育研究所	1 教育委員会指示・伝達事項 2 課題研修 3 冬季休業中の反省 4 情報交換 5 その他		泉 中	
10	2月7日(水) 9:00~12:00	教育研究所	1 教育委員会指示・伝達事項 2 課題研修 3 校長会運営の反省 4 情報交換 5 その他		片岡中	
11	3月26日(月) 10:00~12:00	教育研究所	矢板市立小中学校長研修会(役員会)		片岡小	

※小学校長研修テーマについては、研修部長・部員から提案する。

矢板市小中学校教頭会研修計画

研修テーマ 「教職員の資質・能力の向上を図る教頭の在り方」
～協働する教職員組織をめざして～

期 日	会 場 ・ 時 間	研 修 内 容
平成29年 4月 6日 (木)	矢板市教育研究所 14:00～	矢板市小中学校教頭会総会・研修会
5月15日 (月)	矢板市教育研究所 14:00～	矢板市小中学校教頭研修会
6月 6日 (火)	矢板市教育研究所 14:00～	矢板市小中学校教頭研修会
7月11日 (火)	矢板市教育研究所 14:00～	矢板市小中学校教頭研修会
9月12日 (火)	矢板市教育研究所 14:00～	矢板市小中学校教頭研修会
12月14日 (木)	矢板市教育研究所 14:00～	矢板市小中学校教頭研修会
平成30年 2月22日 (木)	矢板市教育研究所 14:00～	矢板市小中学校教頭研修会

矢板市小中学校教務主任会研修計画

研修テーマ 「教育課程の実践と課題」 ～特色ある学校づくりをめざした教育課程の実践について～

期 日	会 場 ・ 時 刻	研 修 内 容
平成29年 7月 6日 (木)	矢板市教育研究所 14:00～	・研修テーマに基づく研修
12月 5日 (火)	矢板市教育研究所 14:00～	・研修テーマに基づく研修
平成30年 1月23日 (火)	矢板市教育研究所 14:00～	・研修テーマに基づく研修
2月27日 (火)	矢板市教育研究所 14:00～	・研修テーマに基づく研修

矢板市教育支援委員会事業計画

期 日	事 業 内 容
4月	教育支援委員会に関する調査 (県教季) 教育支援委員会委員の委嘱
5月～	判別資料の整理 (観察記録簿の記入、検査の実施、家庭訪問の実施 (各学校)、子ども課との連絡)
10月	第1回教育支援委員会就学時健康診断 (各小学校)
11月	第2回教育支援委員会
12月	就学について結果報告 (県教委へ)
1月～3月	教育支援

矢板市学校保健研究会事業計画

〈研修テーマ〉「児童・生徒の実態をふまえた資料作り」

月 日(曜)	会 場	事 業 内 容
平成29年 4月12日(水)	矢板市教育研究所	矢板市学校保健研究会及び総会
8月	矢板市教育研究所	矢板市学校保健研究会
8月	矢板市教育研究所	矢板市学校保健研究会
11月	矢板市教育研究所	矢板市学校保健研究会
平成30年 2月	矢板市教育研究所	矢板市学校保健研究会

小中学校事務研究会研修計画

〈研究テーマ〉「教育活動を支える学校事務をめざして」

日 時	会 場	事 業 内 容
平成29年 6月20日(火) 14:00～16:30	市教育研究所	教育委員会からの諸連絡 学校間連携による学校事務の効率化の実践・教員の 事務処理の負担軽減の実践 事務処理マニュアルの見直し
平成29年 8月10日(木) 9:00～16:30	市教育研究所	教育委員会からの諸連絡 学校間連携による学校事務の効率化の実践・教員の 事務処理の負担軽減の実践 事務処理マニュアルの見直し
平成29年10月26日(木) 14:00～16:30	市教育研究所	教育委員会からの諸連絡 年末調整互審
平成30年 2月22日(木) 14:00～16:30	市生涯学習館	教育委員会からの諸連絡 今年度の成果と課題のまとめ

矢板市教育会事業計画

月 日 (曜)	会 場	事 業 内 容
4月28日 (金)	片 岡 中 学 校	平成29年度矢板市教育会総会
〃		矢板市教育会事務引継ぎ
		県内外教育状況調査 (視察補助費を受けた5校)
8月3日 (木)	矢 板 市 文 化 会 館	矢板市教育会教育講演会
8月17日 (木)	長 崎 県	第69回日本連合教育会長崎大会
8月18日 (金)		(矢板市から1名参加)
2月9日 (金)	川 崎 小 学 校	市教育会理事会
3月19日 (月)	川 崎 小 学 校	会計監査

矢板市学校栄養職員研究会事業計画

〈目的〉 栄養教諭・学校栄養士の一層の資質向上を図り、豊かで魅力ある学校給食の実現に資する。

月 日 (曜)	会 場	事 業 内 容
平成29年 4月13日 (木)	矢板市生涯学習館	年間事業計画策定
5月18日 (木)	矢板市生涯学習館	本年度テーマに基づく研究
6月13日 (火)	矢板市生涯学習館	市内調理場視察、研究会
7月13日 (木)	矢板市生涯学習館	本年度テーマに基づく研究
9月12日 (火)	矢板市生涯学習館	本年度テーマに基づく研究
10月24日 (火)	矢板市生涯学習館	本年度テーマに基づく研究
11月16日 (木)	矢板市生涯学習館	本年度テーマに基づく研究
12月14日 (木)	矢板市生涯学習館	本年度テーマに基づく研究
平成30年 1月11日 (木)	矢板市生涯学習館	本年度テーマに基づく研究
2月15日 (木)	矢板市生涯学習館	本年度テーマに基づく研究
3月 6日 (火)	矢板市生涯学習館	年間事業のまとめと反省

平成 29 年度矢板市特色ある学校づくり推進事業

番号	学校名	テーマ	目的	内容・実施方法等
1	矢板小学校	学力アップにチャレンジ！ ～夏休みサポートデー～ (継続 8 年目)	児童の「やってみたい」「できるようになりたい」という願いの実現に向けて学力の向上を図る。「できた喜び」や「上達した喜び」を味わわせることで、今後の学習への関心や意欲を高める。	夏季休業中に 3 日間の学習支援日を設ける。 ①学年や児童の実態を考慮し、いくつかのコースを設定する。 ② 1 日に 2 コマ実施する。(1 コマ 60 分) ③児童は事前に希望するコースを選択する。
		学力アップにチャレンジ！ ～ICT を活用した 授業力の向上～	確かな学びを育む取り組みの一つとして、効果的な ICT 機器の活用を図り、基礎・基本の定着、思考力・判断力・表現力等の向上につなげていく。特に、デジタル教科書を効果的に活用することで、授業力の向上、さらには、児童の学力向上を目指す。	デジタル教科書の有効活用 ・算数〔3～6 年生〕 ・社会〔5・6 年生〕 ・理科〔5～6 年生〕
		日本の伝統文化にふれよう ～和太鼓教室～ (継続 6 年目)	日本の伝統音楽にふれることにより、豊かな心をもち、伝統と文化を尊重し、それらをはぐくんできた我が国と郷土を愛し、個性豊かな文化の創造を図る。和太鼓の演奏を鑑賞・体験し、代々受け継がれ、次世代に伝えていくことの大切さと和楽器のすばらしさに気付かせる。	・和太鼓の演奏を聞き、体験する。 〔全児童〕
		自然体験 in 高原	八方ヶ原の散策を通してふるさと矢板の自然に親しめるとともに、「コースター」を作成し、楽しい思い出を作り、ふるさと矢板を愛する心を育てる。	・八方ヶ原散策 ・木工体験「コースター作り」〔5 年生〕
2	東小学校	豊かな心を育てる 体験活動の充実	児童一人一人の豊かな心を育てるために、自然体験、芸術鑑賞体験、国際交流体験等様々な体験活動の充実を図る。	・音楽鑑賞会〔全児童〕 ・宿泊体験〔4 年生〕 ・田植え・稲刈り体験〔5 年生〕 ・国際交流〔5 年生〕 ・箏教室〔6 年生〕 ・環境美化活動〔4 年生〕
3	川崎小学校	伸びる、 「キラリ川崎っ子」!	基礎的・基本的な学力の向上を図るとともに自ら学ぶ力を育てる。 高原山での体験や地域との交流を通して、ふるさとを愛する心を育てる。 児童一人一人の持っているよさ(キラリ)を認め称賛し、自尊感情や向上心を高め、自らのキラリに気付き、挑戦しようとする意欲の向上を図るとともに、互いのキラリを認め合える人権感覚を育成する。 これらの事業を通し、学級経営、児童理解等に関する教職員の資質の向上を図る。	・自ら学ぶ学習環境の整備 算数において一人一人の実情に応じた学習環境を整備し、主体的・継続的に学習に取り組めるような環境をつくる。 ・高原山学習 ミツモチ山ハイキングコース散策〔1～3 年生〕と剣が峰登山〔4～6 年生〕を行い、その体験を絵や作文で表現する。 ・らくりん座に学ぶ 演劇を鑑賞し、感想や手紙などを書き、劇団員との交流を深める。その他、木幡神社の太々神楽など、地域の伝統文化に触れる。 ・「キラリ川崎っ子」の表彰 学期ごとに、努力の見られた児童を「キラリ川崎っ子」として表彰する。人知れず継続的に努力している児童、毎日元気に進んで挨拶をする児童、自ら進んでトイレのスリッパを並べる児童などを特に称賛する。
4	西小学校	「そうだ、 西小学校へ行こう!!」 ～ワクワク感あふれ、 一人一人に小さな自信 を育てる活動の展開～	学習習慣、生活習慣、健康習慣の 3 つの学び(習慣)を育て、児童にさまざまな体験を積み上げさせ、学年めあでの達成により、一人一人に「小さな自信」を得させる。	・「ふるさと学習」体験 県民の森散策、矢板高校との交流<リング栽培・収穫体験>〔2 年生〕 ・スケート教室〔全児童〕 ・絵画教室<色鉛筆で描こう>(3 回)〔全児童〕 ・親子体操教室<西の森のつどい>(1 回)〔全児童〕 ・「はくの花・わたしの花」活動〔全児童〕 ・和太鼓体験(1 回)〔全児童〕 ・演劇体験「表現力を高めよう」(1 回)〔全児童〕
5	豊田小学校	地域と共にあゆむ学校 をめざして	地域や家庭の教育力を生かし、児童のふるさとを愛する心を育てる。 様々なふれあい活動を通して児童のコミュニケーション力を育む。	①開かれた学校づくり ・学校紹介リーフレットの作成及び配布 ・学校歴ポスターの作成及び配布 ・「TOYOTA ソーラン」施設訪問 ②高齢者交流会の実施 ③田植え・稲刈り体験 ④チャレンジクッキング

番号	学校名	テーマ	目的	内容・実施方法等
6	泉小学校	児童一人一人を大切に した小規模特認校指定 (小中一貫教育)の強化	昨年度から英数教育の推進をしており、「分かる・できる楽しい授業の創造」を目指し、授業改善に取り組み授業の質の向上、家庭学習の取り組みの指導を図る。 通級・特別支援学級の指導体制と指導方法の工夫・改善を図る。	・算数科において、分かる・できる・楽しい授業を展開するための、外部講師の活用や、教師による教材開発と市販教材の充実させる。 ・特別支援教育指導の向上を図るため、教材の準備と外部講師の活用する。
7	片岡小学校	広めよう 深めよう 地域のきずな ～地域の人材を 活用しよう～	地域人材、地域の施設、自然などの活用を図り、地域から学ぶ機会を多く取り入れる。学校からの情報発信や、家庭・地域社会からの情報収集を積極的に行い、地域の教育力を生かした教育活動を展開する。	・学習支援(学習アシスタント、ゲストティーチャー) 地域の方々の知識や技能にふれることで、子供たちの学習意欲を高めるとともに、地域への愛着を深める機会とする。 5～6月 町探検の引率補助〔2・3年生〕 10月 図工くぎ打ち体験・木工作品 10～11月 家庭科ミシン学習〔6年生〕 11月 音楽教室 1月 そろばん学習・キャリア教育 3月 教材教具整理修繕 ・環境支援(図書ボランティア、環境サポート) スクールパートナーズによる学校環境の整備や、見守り隊による子供たちの登下校の安全確保の活動を通して、地域住民同士のつながりを深めるきっかけとする。 7月・12月・3月 清掃ボランティア 7月カーテン洗濯 12月給食用白衣の修理修繕 通年 図書修理整理 貸出補助 下校時の安全指導校舎内・外環境整備
8	乙畑小学校	郷土を愛し、 自らの学力を向上させる 児童	学校教育目標の1つである「進んで学ぶ子」を柱とし、「郷土を愛し、自らの学力を向上させる児童」を育てる。 今年度は、「主体的に考え、判断し、表現する力を育てる」と共に、「できる、分かる、楽しい授業」を工夫し、基礎・基本の確実な定着と活用力の育成を図る。「郷土を愛する体験活動の充実」「自らの学力を向上させるための学習に働きかける環境づくり」を実践する。	・研究授業(5回)および授業研究(6回) ・学力向上研修(2回) ・学習に働きかける教材作成 ・郷土を愛する心を育む自然体験活動 (高原山登山) ・ひまわり祭
9	安沢小学校	豊かな体験活動を通して、 児童の「生きる力」を育 む教育の実践	様々な教育活動の中に体験的な学習を通して、自分たちが住んでいる地域、矢板市、栃木県に目を向け、「我がふるさと」として生活できる子、学んだことをより確かなものにできる子、自然を愛する子の育成を目指す。体験については次の3つを柱とする。 ①ふるさとのよさを知る体験 ②本物に触れる体験 ③たくさんの人とつながる体験	①天体観測、高齢者との交流学習、花いっぱい活動〔全児童〕 ②川の生き物観察会&探鳥会〔1、2年生〕 ③ふるさと達人になろう〔3年生〕 ④安沢の野菜を探ろう〔4年生〕 ⑤やさしさってなんだろう〔5年生〕 ⑥世界に目を向けよう〔6年生〕
10	矢板中学校	「花いっぱい」推進事業	生徒の豊かな心を醸成するために、種子から花を育て、公共施設などに送り、自然を愛する心を育てる。	・校舎内外の緑化を豊かにし、環境教育を充実させる。・プランターに種子を植え、花を育て、地域に配布する。
		「夢いっぱい」推進事業	生徒一人一人が自分の将来に大きな希望と夢をもち、その実現のために計画を立て、よりよい自己実現を図ろうとする心を育てる。	・総合的な学習の時間(ハビネスタイム)の充実「職業人に聞く」を実施する。 ・生徒理解と「夢」を持たせるカウンセリングやガイダンスの充実キャリア教育の推進 ・よりよい自己実現の図れる教育活動家庭学習習慣の確立、補充学習の充実
		「元気いっぱい」推進事業	自主的、意欲的、創造的、活力のある進化する生徒会活動をめざし、生徒の豊かな心を醸成するために、スポーツ大会を実施し、励まし合う心ややり抜く心を育てる。	放課後を利用し、学年別に長縄跳び大会やソフトバレーボール大会等を年に3回程度実施する。
		「ふるさと学習」事業 (ふるさとの歴史や自然にふれよう)	矢板市立郷土資料館の見学と高原山登山を通して、ふるさとの歴史や自然環境を再発見し、ふるさとのよさを確認する。	矢板市立郷土資料館見学、高原山登山

番号	学校名	テーマ	目的	内容・実施方法等
11	泉中学校	地域貢献 ～市民との交流を広げ、 ふるさと矢板を愛する心 を高めるために～	生徒が地域と積極的に交流し、意欲的にふるさと矢板に貢献する各種活動を泉地区小中一貫教育における中心事業として位置づけて諸教育活動を展開する。	①地域を知る・地域と交わる～「ふるさと探訪」の実施 豊かな自然環境や市の歴史に直に触れたり見たりすることで、地域の現状を探る。 ②地域と交わる・地域を拓く～「矢板市福祉まつり」への参画 学校全体で積極的に地域に出向き、地域の人々とふれあったりすることで、ふるさと矢板を愛する心を育てる。 ③地域と交わる～教育活動における交流 地域や保護者との更なる連携強化を図るため、ポスター様式の学校歴を保護者および地域の方々や関係機関に配布して情報提供を行い、地域の方々や保護者の積極的な来校を促し、地域人材の活用を推進する。
12	片岡中学校	活力！感動！ さわやか片中	様々な場面での元気でさわやかなあいさつ、毎日の授業・学校行事・部活動等での感動体験の共有、そして活力ある生徒自身の姿を自分でアピールできることを目指している。 また、地域コミュニティとの連携により活力ある片中生のさわやかさを発信する。	①学力向上のための教育課程の工夫 ・アタックタイムを計画的に実施して、基礎的・基本的な内容の定着を図る。 ・表現力の育成のために発表、プレゼンの機会を多く設け、総合文化発表会での発表に生かす。 ・書く力をつけるために名文の視写、200字作文を実施する。 ・読書記録ノートを活用し「三年間で100冊読もう運動」を推進する。 ②関係機関、地域との連携による教育活動の展開 ・公民館、たかはら学園、片岡地区コミュニティ連絡協議会等との交流を通して、福祉活動、奉仕活動等の充実を図る。 ③あいさつ運動の推進 ・学校生活で生徒間、生徒と教師がさわやかなあいさつを交わすことで校内の活性化を図る。 ④伝統のある学校行事の実施 ・生徒会による朝のあいさつ運動を実施し校内外にあいさつ運動を啓発する。 ・運動会、総合文化発表会など生徒の自主的な企画、運営による学校行事を実施する。
13	矢板中学校 沢分校	個に応じた学習指導の推進	個々の躓いている内容を把握し、学習内容を丁寧に教え「分かる」「できる」喜びを体感させながら学習への拒否感を払拭し、学習意欲を喚起して学力を定着させる。	児童相談所や前籍校からの情報、転入時のテスト等で個々の学力を把握し、数学・英語は習熟度別で、他はTT体制で個々に躓いている学習内容から丁寧に繰り返し指導する。
				合計

矢板市立小学校小規模特認校制度

～ 小規模校における特色ある教育活動をいかした活性化について ～

平成25年2月1日、西小学校と豊田小学校が、平成28年4月1日、泉小学校と泉中学校が小規模特認校に指定されました。

矢板市立小学校小規模特認校制度とは

自然環境に恵まれ、地域の歴史と伝統を生かした教育を推進している小規模校において、児童の適性を生かした教育を推進するとともに心身の健康増進を図り、豊かな人間性を培い、併せて複式学級の解消を図ることを目的とした制度です。

- 矢板市内に居住している児童・生徒に該当し、希望があれば学区外からも入学・転入学・転学することができます。
- 西小学校は、自然豊かな環境の中で一人一人を生かした心潤うきめ細やかな教育活動、豊田小学校は、英語が話せる表現力豊かな子を育て、個の力を伸ばす新しい時代の教育活動を行います。
- 泉小学校・泉中学校は、教科の強化や土曜学習教室の開催、また学校教育、社会教育の融合により子どもたちにふるさとへの愛着と誇りを育てるプログラムにも取り組みます。
- 小規模特認校の受け入れ人数は、各学年とも7名以内とします。ただし、欠員が生じたときに限り、これを受け入れるものとします。
- 小規模特認校の受け入れ時期は、原則として年度当初としますが、教育委員会が認めた場合はこの限りではありません。
- 小規模特認校の受入期間は、受け入れた学年から小学校卒業までとします。
- 共働きの保護者の皆様におかれましては、西小学校は「西の森ふれあいスクール」で豊田小学校は「豊田っ子ふれあいスクール」で放課後にお子様をお預かりします。